

目標達成計画

作成日: 平成 27年 4月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ベット柵を使用していた方が退所される。実地指導後スタッフで検討し、介護服着用中止する。今回は身体拘束排除できたが、今後もどのような方が入所されるか分からない。ホームが2階にあり、建物の構造上出入口は施錠している。	身体拘束ゼロを目指し取り組む。	身体拘束に関しては利用者の安全確保の為、職員間でしっかりと検討を行い、日頃の状況も職員間で共有できるように、個人記録への記載や申し送りを行う。今後も勉強会等に参加する。	12ヶ月
2	49	入居者の方が重度化し、外出の機会が少なくなり帰宅も困難になっている。今回の家族アンケートを見せてもらおうと、外出が少ないと思っておられる事が分かった。	行事やドライブ等の回数を昨年より増やす。	季節によっては外出が困難だが、これから天候が良くなるので、施設周辺を散歩したり、車椅子の方が多いため個別対応で外出する。	12ヶ月
3	19	アンケートにより家族は施設での生活に満足されていないと知り、家族とのコミュニケーション不足があった事を知り反省する。	・入居者様に笑顔で過ごしていただけるような施設を目指す。 ・家族と接する時間を持つ。	家族が要望等を話しやすいような雰囲気作りを行い、より良い関係を築く。その為には明るい表情で声かけし、家族に行事へ参加された事や参加時の状況等その時々状況を伝え、どのような生活を過ごされているのか分かってもらう必要がある。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。